

令和5年度 授業改善推進プラン 図画工作科

図画工作科では、「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりする」「造形的なよさや美しさ、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深める」「つくり出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う」ことを目標とする。

課題

○知識・技能

- ・思いついたことを実現するために試行錯誤する児童が多い一方で、道具の使い方や材料の扱い方が未熟なため、思い描いたように表すことに課題がある。
- ・材料や道具の特性を生かして、表したいことに合わせて材料を選択することに課題がある。

○思考・判断・表現

- ・材料や題材のテーマや主題からイメージを広げること課題がある。
- ・自分の作品の気に入っているところを人に伝えることはできても、形や色、技法、主題等、多様な視点から作品を鑑賞する力は深められていない。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・つくり出す喜びや楽しさを感じている児童は多いものの、早く終わらせることに満足し、できた作品をより良くしようとする積極的な態度が見られない児童がいる。
- ・題材や1単位時間の中で達成する目標を見出せずに授業を受ける態度が見られる児童がいる。

授業改善策

低学年…知識・技能

- ・材料に積極的に触れる機会をつくり、自分の視覚や触覚などの感覚、並べたり、つないだり、積んだりするなどの行為を通して、形や色、材料や用具の特性に気付けるようにする。
- ・本番の用紙以外に、練習する紙を用意する等、道具や素材に慣れ親しむ時間を十分に設定する。

思考・判断・表現

- ・好きな形や色を選べるよう、また身近な材料から楽しく発想できるよう、材料の選択肢を豊富に用意する。
- ・複数の参考作品を示したり、児童の取り組みを紹介したりすることで、豊かな発想をうながす。

主体的に学習に取り組む態度

- ・授業の流れを確認することで、授業の見通しをもたせる。さらに、振り返りを題材ごとに（できれば毎時間）行うことで、次回の課題を把握させる。
- ・「●●ショー」、「いいところをほめよう、ほめほめ大会」など、楽しく表現したり鑑賞したりする機会を設定し、つくり出す喜びを感じさせ、学習意欲を高める。

中学年…知識・技能

- ・自分の視覚や触覚などの感覚、混ぜたり切ったりすることなどの行為や活動を通して、色や形などの感じが分かるようにする。
- ・材料や用具は1つの題材で終わりにせずに繰り返し使うことで、体全体の感覚を使って特徴を知ることができるようになる。
- ・練習する時間や試す時間を十分に設定し、木切れ、板材、釘、水彩絵の具、彫刻刀、のこぎり、金づちなどを安全に注意しながら適切に扱えるようにする。

思考・判断・表現

- ・児童自身の考え方や感じ方だけでなく他者と共有する機会をつくり、豊かに発想できるようにする。
- ・複数の参考作品を示したり、児童の取り組みを紹介したりすることで、豊かな発想をうながす。

主体的に学習に取り組む態度

- ・授業の流れを確認し、授業の見通しをもたせ、次回の目標を把握させる。
- ・他者の作品を鑑賞する時間を制作時間とは別に設けて、作品をより良くする手立てを考えられるようにする。

高学年…知識・技能

- ・材料や道具を扱う際は、その特性や使い方を視覚的に表し、いつでも振り返れるようにすることで、これまでに学んだ材料や用具を、表現方法に応じて活用できるようにする。
- ・形や色、イメージ、親しみのある材料などから感性や想像力を働かせて表したいことを思いつけるようにする。

思考・判断・表現

- ・作品主題を深められるようなテーマや材料などを用意し、よりのびのびと自由に発想が広がるようにする。
- ・複数の参考作品を示したり、児童の取り組みを紹介したりすることで、豊かな発想をうながす。
- ・ICT（スクールタクト）を活用して、制作のポイントと照らし合わせながら鑑賞できるようにすることで、児童自身の考え方や感じ方だけでなく他者と共有する機会をつくり、創造的に発想できるようにする。

主体的に学習に取り組む態度

- ・授業の流れを確認し、授業の見通しをもたせ、次回の目標を把握させる。
- ・自分の思いや意図、創意工夫した点を、友達同士で発表する機会や時間を設定し、互いの活動を認め、良いところを共有し合い、学習意欲を高める。